

第 87 号

2013 年 12 月

ラルーラ通信

＜発行＞
中部学院大学
子ども家庭支援センター
〒504-0837 岐阜県
各務原市那加甥田町30-1
Tel.058-375-3605
fax058-375-3609



「ユーモア」のすすめ

中部学院大学子ども学部 教授
浅野俊和

最近、子どもが育っていく生活の中からとても重要なものが失われつつあるように思われます。それは、「ユーモア」の精神です。

ユーモアとは、いったい何なのでしょう。「人の心を和ませるようなおかしみ」や「上品で、笑いを誘うしゃれ」、「諧謔」など、辞書・事典には定義されているようですが、難しすぎてあまりよくわかりません。

そうした時には、手っ取り早く、プロにたずねることが一番でしょう。私にとって、“ユーモアの達人”といえば、長新太です。彼は、次のように、ユーモアについて説明しています。

「小さな子どもは、見るものがみんな珍しいから新鮮に思える。／甘いものばかり食べるアリを見て、虫歯になるかもしれない、と心配する子どもがいる。／パトカーは『ピポピポ』だよ、と言う子どもがいる。こうした子どもの言うことをきいて、全世界のアリは全員虫歯なのかもしれぬ、と思ったり、パトカーは『パポパポ』であるかどうか、たしかめるくらい大人にならなくてはいけない。『ハテネ?』とか『ソーカシラ?』と思うだけでもよい。／子どもの言うことをバカバカしい、と思ったらオシマイである。その人の頭はもう不良品になっているのである。芸術家や科学者は、子どものような目でものを見て、傑作をつくったり偉大な発見をしている。／子どものいいところをドンドンすてて、大人になる人が多い。もったいない話である。すぐれた大人は、子どものいいところを残して持っている。／子どもの目はダイヤモンドより光っていて、自由にいろいろなものを見る。空想をする。大きなユーモアの世界である。子どもの頭はゴムマリのように自由でどこへでも飛んでいけるのである。／こちらだって負けてはいられない。心をカモメのようにひろげて、大空へ飛び立とう。／そしてユーモアを発見しよう」(長新太『ユーモアの発見』岩波ジュニア新書、1984 年、pp.iii-v)。

長新太の指摘によれば、「自由にいろいろなものを見る」こと、つまり「空想をする」ことこそが、ユーモアの源だということになります。街中でバスを見れば、「岐阜バス」や「JR岐阜駅行きのバス」と考えるだけでなく、『タコのバス』や『ムニャムニャゆきのバス』だなど「空想」してみませんか。それから、卵焼きが話をしたり(『おしゃべりなたまごやき』)、史上最強のミミズが存在したりする世界(『みみずのオッサン』)とか、もし頭がゴム製だったらとか想像してみたら(『ゴムあたまボンたろう』)、きっと楽しいでしょう。

そうした“自由な発想”が、今、子どもたちの生活から姿を消してきています。森を見れば「トトロの森」というように、“型にはまった発想”ばかりになっているのです。

現実を少しだけ違った目で見ることが、ユーモアの精神なのだと思います。だから、「トトロの森」なんて、いかがですか。



「英語で遊ぼう！」 学生による活動Ⅰ

子ども学科一年生「言語による表現活動」の授業の一環として、受講学生が「英語で遊ぼう！」という催しを行い、楽しい時間を過ごしました。【子どもは身体や感覚で言葉を覚える】ということの基本として、乳児向けの「かいぐりかいぐり おつむてんてん」などわらべ歌の英語版(?)の曲を中心に遊びました。今回は片桐多恵子短期大学部学長と全受講生と一緒に遊びましたが、次回からは金曜日を中心にさみだれしきにグループで行います。お楽しみに！

Rolly Polly Rply Polly Up Up Up
Rolly Rolly Rolly Rolly Rolly Rolly
Down Down Down ...
みんな笑顔で楽しそう

Head and Shoulders
学生も歌って一緒に楽しみました。

Up Up Up Down Down Down ...
リズムに合わせて手を上げたり下げたり...
身体や感覚で言葉を覚えていきます。
最後には「We Wish A Merry Christmas」
の歌をみんなで歌いました

「絵本の読み聞かせ」 学生による活動Ⅱ

毎月1回、大学図書館より「移動図書館」(書籍の紹介・絵本の読みかせ等)があり、その時に合わせて経営学部1年生の学生4人が読み聞かせにやってきてくれました。図書館をよく利用する学生で、きっかけは「読み聞かせに興味がある」「子どもが好きで接してみたいが機会がない。」という図書館職員とのおしゃべりからでした。こちらも単発ではなく次回へと繋がるようです。お楽しみに！

力作が勢揃い！ お母さんのためのリフレッシュ講座

好評の「お母さんのためのリフレッシュ講座」の近況です。毎回内容は様々ですが、その時間だけではなく毎回宿題(?)ができ、家庭での作業が多くなります。「のめり込んじゃって『どこがリフレッシュ』って感じだけど楽しいね。」とおしゃべりも弾みます。この頃は、出来上がった作品が次々届き、オリジナル作品ばかりです。お子さんの好みに応じて柔軟に作品を仕上げるお母さん方に脱帽するばかりです。凄い！の一言です。器用さや技術もちろんですがやっぱり愛情ですね。

「立体クルクル絵本」

「クリスマスカード」

親子で楽しむ 「にこにこ広場（1歳児対象）」



にこにこ広場は1歳児の親子さんと保護者の方との遊びの広場です。家庭とは違う広い場所（グロリアホール）で様々な遊びをじっくり楽しむ内容です。今回は新聞紙などの紙を使った遊びを楽しみました。透ける紙で顔を隠し「いないいないばあ」を楽しんだり、新聞紙をビリビリ破いてパーッと撒き散らしたりそれぞれの楽しみ方で過ごしました。お母さん方の上手い遊びへの誘いで1時間余りの間ずっと遊びに集中して楽しめたひとときでした。笑顔のママの誘いは最強です。

ビリビリ破いてパーッと撒く。
やっぱりこれが一番最高！
ここでしかできない醍醐味ですね。



「いないいないばあ」
「あれ？〇〇ちゃんいないねえ。どこかなあ…」
「ここかな？見つけた！」「キャハハハ〜」
ママの遊びへの誘いの言葉に
子どもの目が輝きます！



子どもさんのペースで楽しむため
時にはホールの隅で遊びが始まることも。
親子でじっくり楽しめます。

吹奏楽部定期演奏会 12月21日（土）

毎月3回「ランチタームコンサート」でお馴染みの吹奏楽部による定期演奏会です。ジブリメドレーの他、馴染みのある手遊びの曲やブラックシアターでは昔話メドレーを披露する予定です。今年もお楽しみに！チケットはラ・ルーラでも用意しています。

12月21日（土） 開演 14:00

関市文化会館 大ホール



ラ・ルーラ季節 たより 「親子で見つける小さな自然Ⅱ」

先月の「げんきサロン」は“学びの森”までみんなで散歩に行ってきました。肌寒く感じる季節になってきましたが、防寒着を着て身支度を整え、元気いっぱい遊んできました。

まず最初に見つけたのは「どんぐり」。大学敷地内にある数々の椎木の下に落ちている実を拾い、袋いっぱい詰めていました。学びの森に行くまでの間は、紅葉してきれいに色づいた桜の葉を見つけて楽しんだり、小枝を拾ったり…たくさんの道草をして行きました。学びの森ではイチヨウの葉で遊び、広い原っぱでは思いっきりかけっこもしました。

まだまだ四季折々のたくさんの発見ができる“学びの森”です。どうぞ出かけてみてくださいね。

どんぐり拾いに夢中のみんな。
ママも一緒に夢中です。



帰ってからは廃材容器を
使っておもちゃ作り。木の実を
いっぱい入れて、カラカラと
音を鳴らして遊びました。





<ラ・ルーラ開設日>火・水・木・金・土曜日 (時間 10:00~16:00)

催しがあるときも ラ・ルーラ内では自由に遊べます。



1 月の予定

日	月	火	水	木	金	土
			1 休み	2 休み	3 休み	4 休み
5 休み	6 休み	7 おはなし広場 11:00~11:20	8	9 11:00~ お母さんのための リフレッシュ講座	10	11 みんなで遊ぼう! 11:00~12:00
12 休み	13 休み	14 12:50~ ランチタイム コンサート	15 げんきサロン 11:00~12:00	16	17 11:00~ 移動図書館 (読み聞かせ)	18
19 休み	20 休み	21	22 11:00~ 子育て実践 プログラム	23 にこにこ広場 11:00~12:00	24 12:50~ ランチタイム コンサート	25
26 休み	27 休み	28 12:50~ ランチタイム コンサート	29	30 赤ちゃんサロン 11:00~12:00	31 1月の誕生会 11:00~11:30	

*毎日 11 時頃にお話しの時間があります。

*各サロン・子育て実践プログラム等、ラ・ルーラ利用料(保険料)にてご利用いただけます。

尚、各行事は定員 15~20 組、準備のため事前参加申込みが必要です。

電話：058-375-3605 FAX：058-375-3609



1 月の行事 各サロンの内容紹介

7日 おはなし広場 絵本・エプロンシアター・ペープサート・パネルシアターなど
様々なお話の世界を楽しめます。

9日 お母さんのためのリフレッシュ講座 編み物 (指編み)

11日 みんなで遊ぼう! 学生サークルによる遊びの企画です。(担当サークル：はっぴいまん)

15日 げんきサロン (2~3歳児対象) 新聞遊び

17日 移動図書館・読み聞かせ 図書館スタッフによる 本の紹介と読み聞かせ

22日 子育て実践プログラム 「子育ての中に音楽を」
中部学院大学短期大学部 子ども学科 教員 安田 万里子

23日 にこにこ広場 (1歳児対象) 親子ふれあい遊び(広いホールで動き回って遊びます。)

14・24・28日 ランチタイムコンサート 吹奏楽部員(学生)による ミニコンサート

30日 赤ちゃんサロン (0歳児対象) 親子ふれあい遊び & 交流

31日 誕生会 1月生まれのお友達を みんなで祝います。

